

射水市における市民協働の取組について

経過

射水市では、自立したまちづくりを進めるため、平成 19 年度を「市民と行政による協働のまちづくり元年」と位置付け、市民と行政の力を結集した、協働によるまちづくりをスタートさせた。

また、協働のまちづくりを加速化させるため、平成 24 年度には「協働のまちづくり推進条例」を制定し、射水市におけるまちづくりの柱として、市民協働の更なる推進を図っている。

具体的施策

1 地域に対する取組

(1) 地域振興会の設立（平成 20 年度～）

- 市民自らが地域の課題を解決し、地域の実情にあったまちづくりを実現するため、自治会・町内会を中心に、地域の各種団体が連携・協力する組織（＝地域振興会）を市内 27 地区に設立した。
- 地域振興会は、地域住民組織の代表として、地域の意見、要望を把握し、地域課題の解決や地域に合ったまちづくりの実現に向けて、自主的に活動を行うとともに、市との連絡調整の役割を担っている。

(2) コミュニティセンターの設置（平成 23 年度～）

- 地域活動の拠点施設を確保するため、平成 23 年 4 月から地区公民館をコミュニティセンターへ移行し、「地域づくりの場」「生涯学習の場」「地域住民交流の場」と位置付け、地域に密着した施設として有効活用されている。
- コミュニティセンターの管理は、地元の地域振興会が指定管理者となり、自主的・主体的な管理運営を行っている。

（ R2.4 月現在 指定管理者制度導入施設数：22 施設 / 27 施設 ）

(3) 地域型市民協働事業の実施（平成 20 年度～）

趣旨

「自分たちのまちは自分たちでつくる」という自治意識を持ち、市民自らが地域の課題を解決し、地域に合ったまちづくりを実現するため、地域振興会と市がそれぞれの役割と責任を認識し、協働でまちづくりを進める地域型市民協働事業を実施するもの。

財政支援

以下に掲げる地域振興会の活動に対し一括交付金（地域型市民協働事業交付金）を交付

(ア) 市との協働事業（市の基準に基づき算定）

(イ) 地域振興事業（100円×世帯数＋500,000円）

(ウ) 運営費（世帯数に応じ1,025千円～1,632千円）

<参考> 令和2年度予算額 129,222千円

(4) 地域提案型市民協働事業の実施（平成22年度～）

趣旨

地域が抱える問題やテーマを解決し、地域にあったまちづくりの実現に向けて、地域振興会の自由な発想を生かした公益的及び社会貢献的な事業の提案を募集するもの。

補助率

10 / 10（最長3年間の補助 2年目：2 / 3、3年目：1 / 2）

上限額

20万円

審査

地域振興・文化課のヒアリングを経て採択事業を決定

採択件数

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	計
件数	5	3	3	3	1	2	4	1	2	3	2	29

(5) 地域振興会職員応援団の設置（平成20年度～平成28年度）

目的

市民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、市職員が各地域振興会の活動を支援及び調整することで、地区住民の自主的な活動を促すとともに、地域の活性化を図ることを目的とする。

対象職員

管理職及び希望する一般職員

（ただし、消防職員、保育士、医師、医療技術職員を除く。）

支援対象地区

原則として、現住地域の地域振興会の活動を支援・調整する。

支援形態

無償ボランティア

役割

地区住民の対等なパートナーとして、住民自治における各種の支援及び調整を行い、地域力を最大限に引き出す役割を担う。

今後のあり方について

職員の多忙化や地域間のアンバランス等により、制度自体が形骸化していたため、平成29年度から職員応援団制度は実質、休止状態となっている。今後は制度化にこだわらず先進事例を行政と地域で共に学びながら、効果的な活用が図られるよう取り組む。

2 市民活動団体に対する施策

(1) 公募提案型市民協働事業の実施（平成20年度～）

趣旨

本市の様々な分野における地域課題の解決に向けて、NPO法人やボランティア団体等が有する専門性・先駆性などの特性を生かした事業の提案を募集するもの。

補助率

3 / 4（ 最長3年間の補助 2年目：2 / 3、3年目：1 / 3 ）

上限額

100万円

審査

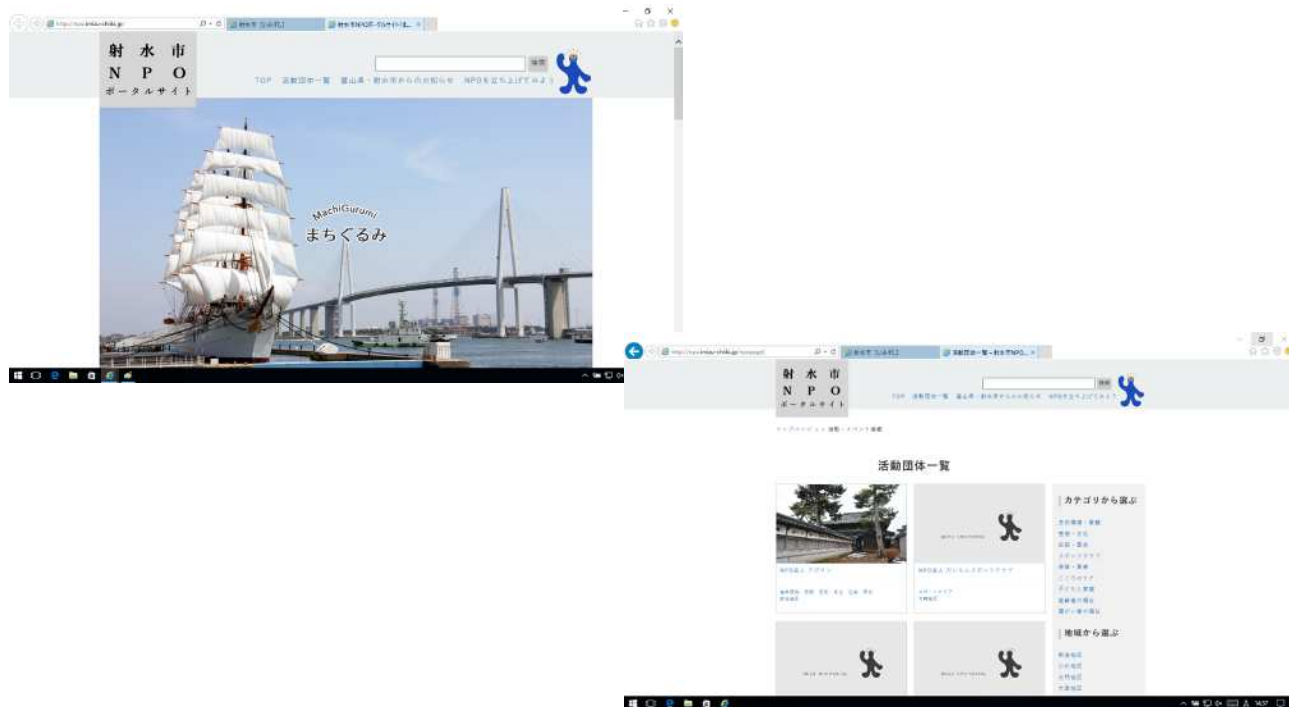
公開によるプレゼンテーションを行い、有識者等で構成する審査会において選考

採択件数

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	計
件数	6	3	3	1	2	2	4	4	3	2	3	4	2	39

(2) NPO法人ポータルサイトの制作（平成 29 年度～）

市内NPO法人の活動内容を広く周知し、活動の活性化を図るとともに、地域との連携を促進するため、市内NPO法人のポータルサイト「まちぐるみ」を制作し、管理している。



3 人材育成・発掘

(1) 射水まちづくり大学の運営（平成 22 年度～平成 28 年度）

目的

協働の理念の下、地域の課題解決やまちづくりをけん引するリーダーの育成を目的とする。

運営

市内 6 つの高等教育機関で構成する射水まちづくり大学運営協議会が実施機関となり、まちづくりに関する幅広い講義を行う。

卒業生

- ・ 7 年間で 1 5 4 名の卒業生を輩出
- ・ 卒業後は、地域振興会をはじめ、N P O 法人や各種団体等の役員・構成員としてまちづくりに参画

(2) 射水まちづくり大学同窓会との協働（平成 29 年度～）

射水まちづくり大学同窓会設立への支援

射水まちづくり大学の卒業生が一堂に会する「卒業生の集い」の開催を支援したことにより、卒業生が主体となり、協働の理念に基づき、会員相互に協力し、地域のまちづくりの主体となることを目指す「射水まちづくり大学同窓会」が設立された。

射水まちづくり大学同窓会との協働

射水まちづくり大学同窓会の会員が持つ知識やスキル、人脈等を活用し、まちづくりに関する事業（射水まちづくりプラットフォーム、射水まちづくりセミナー）を令和元年度から協働により実施している。また、今年度から新たに「N P O 団体等連携強化事業」を委託している。

(3) 射水まちづくりプラットフォームの実施（平成 29 年度～）

目的

まちづくりに参画する市民の裾野を広げるため、地域振興会やN P O 団体等の活動を体験してもらい、まちづくりに対する理解や関心を深めていただくことを目的とする。

内容

「見る」「聞く」「感じる」の要素を重視したフィールドワーク中心のプログラムを実施する。令和元年度からは、企画運営を射水まちづくり大学

同窓会に委託し、実施している。

令和２年度（ 射水まちづくり大学同窓会へ委託）
第１回：子どもの居場所見学＆光るペットボトルとマスクを作ろう！ ■実施日 ８月１日（土） ■実施内容 ＮＰＯ法人はぁとぴあ２１活動紹介、親子工作 他 ■参加者数 ２９名（２２名＋まちづくり大学同窓会スタッフ７名）
第２回：歴史道 新湊を知る＆巡る ■実施日 ９月２０日（日） ■実施内容 ・座学「みんなで歴史道 新湊を知る」 ・新湊地区西地区散策（漁民義人塚、長徳寺の山蔵など） ■参加者数 ４４名（３４名＋まちづくり大学同窓会スタッフ１０名）
第３回：地域振興会の活動にふれてみよう！ ～世代交流事業の体験（ミニ門松づくり）～ ■実施日 １２月１９日（土） ■実施内容 ・地域振興会活動についての説明 ・講義「森林の働きについて」 ・ミニ門松づくり体験 ■参加者数 ２６名（１９名＋まちづくり大学同窓会スタッフ７名） まちプラ参加者とは別に、作道地域から２７名参加

(4) 射水まちづくりセミナーの実施（令和元年度～）

目的

まちづくり活動の実践者やまちづくりに興味を持っている市民に対し、まちづくりに役立つスキルを実践的に学ぶ機会を提供することで、まちづくりの担い手育成につなげることを目的とする。また、まちづくり実践者のネットワーク形成にも取り組む。

内容

まちづくりの活動に役立つアイデアやスキルを学ぶセミナーを実施する。企画運営は射水まちづくり大学同窓会に委託し、実施している。

令和２年度（ 射水まちづくり大学同窓会へ委託）
第１回：オンライン（ＺＯＯＭ）で学ぼう 「伝える・伝わる 広報のコツ」 ■実施日 ８月２日（日） ■講師 明石 あおい 氏 （株式会社 ワールドリー・デザイン 代表取締役） ■実施内容 オンライン会議ツール「ＺＯＯＭ」を利用した、チラシの作成のポイント等に関する講義 ■参加者数 １９名（１５名＋まちづくり大学同窓会スタッフ４名） 第２回：「実りある打合せにするためのコツ」 ■実施日 ９月１２日（土） ■講師 町野 美香 氏 （射水まちづくり大学同窓会 事務局長） ■実施内容 会議の進行における工夫等、ファシリテーションに関する講義 ■参加者数 １５名（９名＋まちづくり大学同窓会スタッフ６名） 第３回：「まちづくりシミュレーションゲーム 『SIMULATION熊本２０３０』で まちづくりを考える」 ■実施日 １１月２８日（土） ■講師 青木 佑一 氏 （早稲田大学マニフェスト研究所議会改革調査部会） ■実施内容 市政運営をシミュレーションするゲームを通じ、対話によるまちづくりを体験するワークショップ ■参加者数 ２３名（１６名＋まちづくり大学同窓会スタッフ７名）

(5) 射水市まちづくり関係団体連絡会議の実施（令和２年度～）

目的

協働のまちづくりを一層推進するため、「ＮＰＯ団体等連携強化事業」としてＮＰＯ法人をはじめとした、市内でまちづくりに取り組んでいる団体の連携強化を図り、多様な主体による多面的なまちづくりを支援することを目的とする。

内容

まちづくりに携わる団体等の連携を促進し、協働のまちづくりの基盤を強化する。企画運営は射水まちづくり大学同窓会に委託し、実施している。

令和２年度（ 射水まちづくり大学同窓会へ委託）
第１回：射水市まちづくり関係団体連絡会議 ■実 施 日 ８月２７日（木） ■会 議 内 容 参加団体自己紹介、ＮＰＯ団体等連携強化事業について、事前アンケート結果について、対話の時間（テーマ『多様な主体によるまちづくり』で私たちができること） ■参加団体数 ２１団体 ■参 加 者 数 ３２名（２５名＋まちづくり大学同窓会スタッフ７名） 第２回：射水市まちづくり関係団体連絡会議 ■実 施 日 １１月１２日（木） ■会 議 内 容 まちづくり団体活動展について、まちづくり関係団体連絡会議の今後について ■参加団体数 １９団体 ■参 加 者 数 ２５名（１９名＋まちづくり大学同窓会スタッフ６名）

令和２年度 （出展団体 調整中）
射水市まちづくり関係団体活動展 ■開催日及び会場 令和３年３月６日（土）～３月７日（日） クロスベイ新湊 オレンジキャンペーンと同時開催 令和３年３月８日（月）～３月１６日（火） 市庁舎１階 エントランスホール 令和３年３月１７日（水）～３月２５日（木） 中央図書館 市民ギャラリー

オレンジキャンペーン

国際女性デー（３月８日）に合わせて、女性の社会進出などを啓発するために、ＳＤＧｓの目標５「ジェンダー平等を実現しよう」のロゴカラーであるオレンジ色で統一したキャンペーンを実施することとしている。

このキャンペーンを、射水市に拠点を置き、チームカラーをオレンジ色としている女子ハンドボールチーム「アランマーレ」、富山県立大学、射水市が連携して実施することで、パートナーシップの形成やネットワークの構築も促進する。